

チュートリアル課題 トイレに近い坂本さん

| | |
|-------|--|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-06-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属: |
| URL | https://doi.org/10.20780/00032213 |

2013年度 Segment. 4

課 題 No.4

課題名：トイレが近い坂本さん

課題作成者：泌尿器科学
泌尿器科学
化学

小内友紀子
家後理枝



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

坂本みち子さんは67歳の女性です。数年前から頻尿に悩まされており、友人に相談をしましたが「年をとったら皆そうよ、私も近くて困っているけど、過活動膀胱と言われてお薬をもらってよくなっているわよ」といわれました。近所の内科を受診し、尿検査で膀胱炎ではないかと言われ、内服薬をもらいましたが効果はありませんでした。

シート2

薬も効かず、困ったみち子さんをみて内科の先生は泌尿器科の受診を勧め、紹介状を書いてくれました。受診した先の泌尿器科で、みち子さんはいままでの症状を詳しく話しました。

医師「いつごろからどのようにお困りですか」

みち子さん「気がついたのは3年くらい前からです。尿が近いので困ります。尿がたまってくると下腹部が痛くなります。はじめは膀胱炎かと思っていたのですが、なかなか治らないので紹介状を書いてもらいました。

日中も1時間ごとくらいにトイレにいきます。夜も3回くらい、下腹部が痛くなり目が覚めます。」

医師「トイレでおしっこを出すと痛みはどうなりますか？」

みち子さん「おしっこをすると痛みは楽になります、でもまた溜まると痛くなるのです。」

医師「尿がもれることはありますか？」

みち子さん「そういえば、咳やくしゃみをするときちょっともれることはあります」

医師「急にトイレに行きたい感じがして、尿がもれることはありますか？」

みち子さん「そういうことはありません」

医師「エコー検査と尿流量検査はしておきましょうね。排尿日誌をつけてきてください」

シート3

排尿日誌をみた泌尿器科の先生は「尿がたまった時の痛みと、このような頻尿を起こす病気があります。検査と治療をかねて手術をしましょう」といいました。みち子さんは手術と聞いてびっくりしました。「私はどんな病気なののでしょうか？どんな手術ですか？完全に治りますか？」みち子さんは質問しました。

シート4

みち子さんは尿細胞診検査を受けた後、間質性膀胱炎の診断で入院して治療を受けることになりました。膀胱水圧拡張術という治療です。膀胱鏡所見では膀胱内に潰瘍が多発し、水圧拡張では五月雨（さみだれ）状出血が見られました。主治医の先生は水圧拡張のあと、膀胱粘膜の生検をし、潰瘍部分の焼灼を行いました。

シート5

病理検査の結果、悪性所見はありませんでした。退院してから3ヶ月、泌尿器科外来を受診したみち子さんです。泌尿器科医師「最近いかがですか？」みち子さん「すっかりよくなりました。尿がたまっても痛くならないし、日中も尿のことを気にせず生活できます。夜もすごくよく眠れて、起きても1回くらいです。」